

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほしぞらとよた1単位・2単位		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日		2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2024年 12月 9日		2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ほしぞらとよた1単位 人との距離感、自分でできることを増やしていけるような支援を実施している。	学年や個人の手先の器用さ等にあわせて、工作を行う過程や内容を変えている。 距離感についてや交通ルール、避難訓練等、“自立訓練”という活動を設け、個々に合わせた課題に取り組むような支援を心がけている。	家庭での課題や学校での課題等の聞き取り、保護者や学校との連携を図る。
2	ほしぞらとよた2単位 小集団での支援により、より個々の課題に取り組むことができる。	就労に向けた作業課題、学習時間を長くとる。	家庭での課題や学校での課題等の聞き取り、保護者や学校との連携を図る。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ほしぞらとよた1単位・2単位 課題の多い利用者、利用中見守りが必要利用者に対応するスタッフが固定化してしまう。	利用者も同じ人の方が安定して過ごせる。	安定して過ごせることは大事なことだが、今後のことを考えるといろんな人とかかわることも覚えていく必要があるため、支援方法を共有しながら誰とでも安定して過ごせるような支援を検討していく。
2			
3			